令和 7 年度 道路橋梁維持管理事業 南正木谷橋補修工事

設計書

(当初設計)

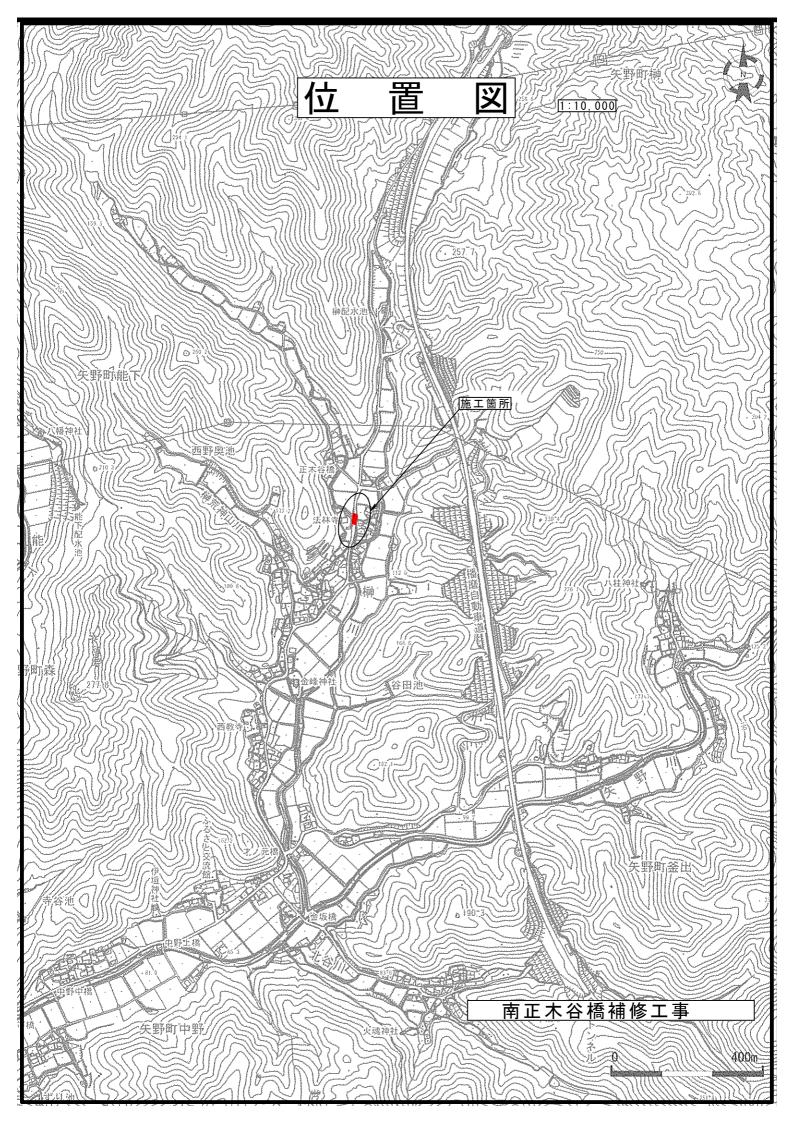
工事番号

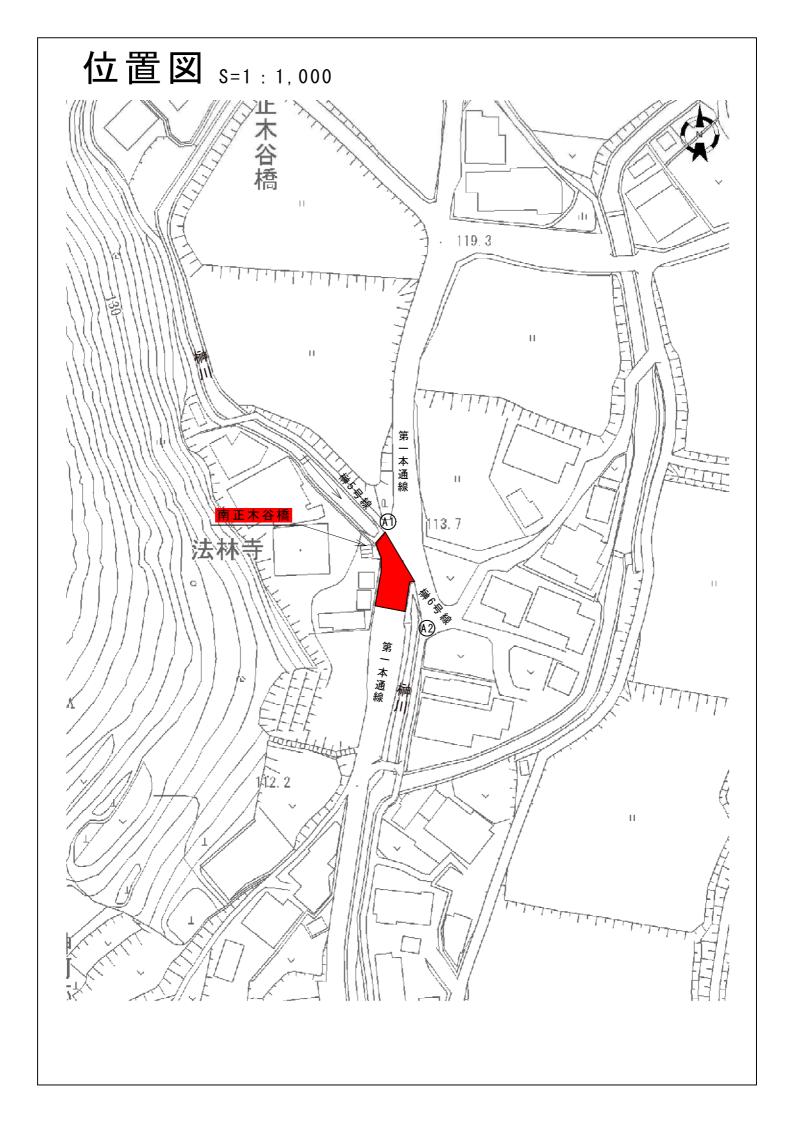
路線名等 市道 第一本通線

工事箇所 相生市 矢野町 榊 地内

工 種 橋梁保全工事

	工	事 費				概 要	
	実 施 (前回変更)	今 回 変 更	増	減	額	南正木谷橋補修工事 南正木谷橋 L=15.8m W=10.4m	
設計額	円	F	9		円	橋面防水工 橋面防水工(塗膜系防) 床版水抜きパイプ設置工	一式 N=1.0箇所
(内消費税額)	(円)	(F	円) (円)		A=103.0m2
請 負 額	円	F	9		円	表層 (t=30mm) 区画線工 区画線設置 (溶融式) 実線15cm白	A=103.0m2 L=28.0m
(内消費税額)	(円)		円) (円)	区画線設置(溶融式)実線15cm白 橋梁付属物工 伸縮継手工	L=41.0m
執行方法	請負	施 工 日 数 または 施 工 期 限	令和8年3	月31日限	ŋ		
(起工理日	由)						
							,





総括情報表

単価適用年月日	0-07. 10. 01 (0)		
	今 回	前回	
工種区分(公共)	31 橋梁保全		
施工地域区分 前払区分	32 一般交通影響有り(2)-1 02 補正なし 1.00		
契約保証費用	01 計上する		
週休2日補正	04 週休2日補正なし		
			-

頁0-0002/0031

費目・工種・種別・細目	数	量	単位	単	価	金	i		考
本工事費		里	+- 114	干	ІЩ	1 24 17	<u> </u>	VHI	~7
橋梁保全工事									
舗装工									
橋面防水工									
橋面防水									
橋面防水工									
塗膜系防水材									
		1					+ /- /	然 α ααα □ 廿 刪 ≢	
上によせもパノプ記思工		1	式				施工,	第0-0001号内訳表	
床版水抜きパイプ設置工									
新設橋梁									
		1	箇所					第0-0003号内訳表	
舗装打換え工		1	固別					弗U-UUU3万円扒衣	
 									
田本文八人ツノ四									
i				1					

頁0-0003/0031

費目・工種・種別・細目	数	量	単位	単	佃		金	額		備	考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下											
	41		m						施工	第0-0008号内訳表	
舗装版破砕											
舗装版破砕(アスファルト舗装版) ;障害ー>無し;撤去厚->15cm以下											
,障告 /無し;撤去序 / 130回以下	103		m2						梅丁	第0-0009号内訳表	
殼運搬	100		m2						//E	N10 0000 11 1 11/12	
殻運搬 舗装版破砕 ; DID区間有り L=19.5km以下											
	6		m3						施工	第0-0010号内訳表	
運搬費 ;運搬距離23.1km	1		台						1,/ →	第0-0011号内訳表	
殼処分	1								<u> </u>	第0 0011 万円 00公	
処分費 アスファルト殻 ;投棄量 6 m3											
処分費 500kgまでは一律処分費とする	1		式						施工	第0-0012号内訳表	
; 投棄量1t	1		式						施工	第0-0013号内訳表	

頁0-0004/0031

費目・工種・種別・細目	数		量	月	鱼 位	単	価	/.	金	客	百	備考
基層			<u> </u>				Ιμμ			ų.		VITS J
基層(車道・路肩部) t = 3 0 mm 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13);(2.35)											
表層		10	3		m2							施工 第0-0014号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 3 0 mm 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13);(2.35)	10	2		m2							施工 第0-0015号内訳表
区画線工		10	ა		IIIZ							加工 第0-0013 专约武衣
区画線工												
溶融式区画線												
区画線設置 [溶融式] 実線 15cm t=1.5mm												
新梁付属物工		2	8		m							施工 第0-0016号内訳表

頁0-0005/0031

費目・工種・種別・細目	数量	単位単価	金額備	考
伸縮継手工				
埋設ジョイント補修				
伸縮継手工 FCクラック抑制工法同等品以上	41	m	施工 第0-0019号内訳表	
仮設工	*11	111	施工、另0 0019 万円的(数	
交通管理工				
交通誘導警備員				
交通誘導警備員 B				
接工事費計	14	人目	施工 第0-0020号内訳表	
				

頁0-0006/0031

数	量単	位 単	価	金額	備	考
	式					
	式					
1	1 式				施工 第0-0021号内訳表	
	式					
	式					
	式					
		1 式 式	工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	1 式	1 式	1 式 施工 第0-0021号内訳表 式

	工事費内訳書	頁0-0007/0031
費目・工種・種別・細目 消費税相当額	数 量 単 位 単 価 金 額 <u>備</u>	考
総計	式	

施工単価表 施工 第0-0001号内訳表

百0-0008/0031

橋面防水工			76 L	 јші́ ∕	ル 上	第0-0001号内訳	衣	負0−0008/	
[規格1]塗膜系防水材	[規格 2]			[摘要]			1	式 考	当
[規格1]塗膜系防水材 名 称 ・ 規 格 塗膜系防水		単位	単	金	額	備	施丁	考 第0-0002号内	1訳表
	103	m2					<i>,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	710 000 1 .11	14/12/
排水用導水管 SUS φ 18	61	m							
端部目地処理材 成形目地材	16	m							
単位当り	1	式							

塗膜系防水			施工	単価表 艦	工 第0-0002号内訳表	頁0-0009/0031
	見格 2]		「揺	爾要]		1 m2 当り
名称・規格	数量	単 位	単価	金額	備	
塗膜系防水 新設		m2				
単位当り	1	m2				
A 施工規模(S) B 時間的制約(K1) C 夜間作業(K2)		=2 =1 =1	200m2未満 時間的制約な 昼間作業			

施工単価表 施工 第0-0003号内訳表

頁0-0010/0031

床版水抜きパイプ設置工			/· _		7 N10 0000 01 110 35	QU 0010/0001
「規格 1] 新設橋梁	[規格2]		[摘	要]	1	箇所 当り
名 称 • 規 格	数量	単 位	単 価	金額	備	考
床版水抜きパイプ設置工					施工	第0-0004号内訳表
	1	箇所				
ー レンゴッイ 一づ地田子					橋梁架設工事の積算 P3-	·299
フレキシブルチューブ設置工 床版水抜パイプ用	1				施 上	第0-0005号内訳表
体版小扱ハイノ用	1	m			 橋梁架設工事の積算 P3-	-201
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)						
削孔径->100mm以上110mm未満	1	孔			//E	. Nat 00000 11 11/137
削孔深さ->50mm以上200mm未満		, , ,				
コンクリート削孔(さく岩機)					施工	第0-0007号内訳表
削孔深さ->200mm以上300mm未満	1	孔				
削孔径50mm						
No. 11 No. 12		£1£1				
単位当り	1	箇所				

施工単価表 施工 第0-0004号内訳表 頁0-0011/0031 床版水抜きパイプ設置工 当り 箘所 「規格1] [規格2] 「摘要] 橋梁架設工事の積算 P3-299 名 称 ・ 規 格 数 量 単位 単 金 額 土木一般世話役 0.1 人 特殊作業員 0.1 人 普通作業員 0.3 人 スラブドレーン (既設橋用) 床版厚240-350mm 組 1 標-3同等品以上 注入樹脂材(エポキシ系) コニシE2601 1 セット 同等品以上 諸雑費 % 15 #01 単 位 当 り 箇所

施工単価表 施工 第0-0005号内訳表

頁0-0012/0031

フレキシブルチューブ設置工			/J [一川山 へ 施」	. 第0-0005号内訳表	貝0-0012/00	31
ノレインノルノユーノ以旦上 「#枚1] 序版 * はパイプ田	見格 2]		「 協	要]橋梁架設工事の積質	当 D2_201	10 m	当り
[規格1]床版水抜パイプ用 [共 名 称 ・ 規 格	数量	単位		金額	備		<u> </u>
普通作業員	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	7 11	<u></u> — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	业 118	VHI	77	
	0.5	人					
							1
フレキシブルチューブ(樹脂)							
外径24.7±2 内径19±2	10	m					
同等品以上							
取付金具(SUS)							
ステンCLサドル (T4-25) 2本付	10	組					
同等品以上							
諸雑費							
	5	%					
					#01		
A =1	1.0						
合 計	10	m					
光	1						
単位当り	1	m					

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

積算単価算出表 _{施工 第0-0006号内訳表}

頁0-0013/0031

「担枚 1] 削引 径->100mm以上110mm未満

「排枚 9] 削引 渡さ - \50mm [7] ト200mm 未満

見格1」削	孔径->100mm以_	上110mm未満 [規格	F2]削孔深さ→>50mm	以上200mm未満	[摘要]		1	孔
票準単価		代表機労材規格	## 十 1	基準単価	積算規格	単価	補 正 構成比	備考
	K1	1ンクリート穿孔機 φ 25cm [電動式コアホ゛ーリンク゛マシン]	(再,以, 几)	<u>泰华早畑</u>	コンクリート穿孔機 [電動式コアホ゛ーリンク゛マシン] [簡易仕様型] φ 25cm	平 1111	作,以几.	<u> </u>
	K2	発動発電機 3kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA			
	К							
	R1	特殊作業員			特殊作業員			
	R2	普通作業員			普通作業員			
	R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
	R							
	Z1	タ [*] イヤモント [*] ヒ [*] ット φ 110mm			タ゛イヤモント゛ヒ゛ット 径110. Omm (スタンタ゛ート゛)			
	Z2	カ゛ソリン レキ゛ュラー スタント゛			レキ゛ュラーカ゛ソリン			
	Z							
					計			
	積算単価 =							

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

積算単価算出表 _{施工 第0-0006号内訳表}

頁0-0014/0031

[規格1] [削孔径->100mm以上110mm未満			[規格2]削孔深さ->50mm以上200mm未満 [摘要]					1			当り
標準単価			代表機労材規格		株よい	甘淮出年		積算規格	単価	補 正 構成比	備	*
	A	削孔径 削孔深さ	1、衣袋力权规格	=5	1番瓜レレ	基準単価 100mm以 50mm以上	:110mm未満	供异风俗		1再刀&,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		5
	В	削孔深さ		=1		50mm以上	200mm未満					

コンクリート削孔(さく岩機)

積算単価算出表 _{施工 第0-0007号内訳表}

頁0-0015/0031

「規格1] 削孔深さ->200mm以上300mm未満

「規格2] 削孔径50mm

「摘要]

羽. 当り

<u> </u>	扎深さ->200mmに	人上300mm未満	<u>削扎径50mm</u>			し 摘要 」		1	扎 当
標準単価			構成比	基準単価		積算規格	単価	補 正 構成比	備考
	K1	空気圧縮機 3.5~3.7m3/min [可搬式・エンシ゛ン駆動・スクリュ型] 排出ガス対策型含	1件 川、上山	☆ 早年Ⅲ		空気圧縮機(排出ガス対策型含) 可搬式エンジン 3.5~3.7m3/分	\$ ##	1冉/戊以	<u> </u>
	K2	さく岩機 15kg級 [ハンドドリル(空圧式)]				さく岩機 [ハンドドリル(空圧式)] 15kg級			
	K								
	R1	特殊作業員				特殊作業員			
	R2	普通作業員				普通作業員			
	R3	土木一般世話役				土木一般世話役			
	R								
	Z1	軽油 パール給油				軽油			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
	A 削孔深さ		=2	200mm以」	_300mm未満				

舗装版切断(アスファルト舗装版)

積算単価算出表 _{施工 第0-0008号内訳表}

頁0-0016/0031

「钼格の]

「摘要]

<u> </u>	ls舗装版厚	[->15cm以下					1	m 当り
標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補 正 構成比	備考
	K1	コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
	К							
	R1	特殊作業員			特殊作業員			
	R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
	R3	普通作業員			普通作業員			
	R							
	Z1	コンクリートカッタ(フ [*] レート [*]) 径18インチ			無装版切断 カッターフ・レート 18インチ			
	Z2	カ゛ソリン レキ゛ュラー スタント゛			レキ゛ュラーカ゛ソリン			
	Z							
					計			
	積算単位	西 =						
	A 舗装 B アスプ	表版種別 プァルト舗装版厚	=1 =1	アスファルト舗 15cm以下	表版			

舗装版破砕(アスファルト舗装版)

積算単価算出表 _{施工 第0-0009号内訳表}

頁0-0017/0031

「規格1]

「規格2] 撤去厚->15cm以下

「摘要]

当り

⌊規格 Ⅰ ⌋				【去學->lbcmり	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		し		1	m2	当り
₩₩₩/₩/₩			/ N - +> 14% N/2 1.1 1.1 1.44	L#: _L 11.	甘		132 /// 10 147	単価	補正	/++: -	łv.
標準単価	K1		代表機労材規格 バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含	構成比	基準単価		積算規格 バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.45m3級	里 伽	構成比		<u> </u>
	K										
	R1		土木一般世話役				土木一般世話役				
	R2		運転手(特殊)				運転手(特殊)				
	R3		普通作業員				普通作業員				
	R										
	Z1		軽油 パ [°] トロール給油				軽油				
	Z										
							計				
	積算	<u> </u>									
	В	舗装版種類 障害等の 騒音振動	有無	=1 =1 =1	アスファルト舗 無し 不要	装版					
	D	舗装版厚積込作業(=1 =1 =1	ー 不安 15cm以下 有り						

殼運搬

積算単価算出表 mu 第0-0010号内訳表

頁0-0018/0031

[_摘要]______ [規格1] 舗装版破砕 [規格2] m3 当り 補 正 標準単価 代表機労材規格 構成比 基準単価 単 価 構成比 備考 タ゛ンプ゜トラック タ゛ンプ゜トラック [オンロート゛・テ゛ィーセ゛ル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む) 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む K 運転手(一般) 運転手(一般) R1 R 軽油 軽油 Z1 ハ。トロール給油 Z 積算単価 = A 殼発生作業 舗装版破砕 =3 機械(騒番対策不要、15cm以下) B 積込工法区分 =3 C DID区間の有無 有り 19.5km以下 D 運搬距離 =37

運搬費			施工	第0-0011号内訳表		頁0-0019/	0031	
	見格2]		[摘	亜]		1	台	当り
名称・規格	数量	単 位	単価	金額	備			= 2
運搬費	<i>)</i> , <u></u>	台		minute Pyr	VIII		·	
単位当り	1	台						
A 車種別 B 運搬距離(km)		=1 =23. 1	小型車(2tクラス) 運搬距離(km)					

4n 八 連			旅	拉工	単価表	美 施工	第0-0012号内訳表	頁0-0020	/0031
処分費 [規格1]アスファルト設 [集	見格 2]			[摘 []]			1	式	当り
「	数量	単位	単	L 摘: 価	金	額	備		= 3 7
投棄料	1.00	式					1 処分費	·	
単位当り	1	式							
A 種 類 B 処分量(m3又はt) C ★★投棄料(円/t)		=2 =6 =	A s 殼 処分量(m3) ★★投棄料	又はt) (円/t)					

施工单価表 施工 第0-0013号内訳表 頁0-0021/0031

処分費		ルビューーーー	
ペラカ貝 「規格 1] 500kg までは一律処分費とする	「規格?〕	[摘要]	1 式 当
[規格1]500kgまでは一律処分費とする 名 称 ・ 規 格	[規格 2] 数 量 単 位	単価金額	備考
投棄料			1 処分費
	1.00 式		
単位当り	1 式		
A 種 類	=9	t当り廃棄物	
B 処分量(m3又はt)	=1	処分量(m3又はt)	
C ★★投棄料(円/t)	 	★★投棄料(円/t)	

基層(車道・路肩部)

積算単価算出表 _{施工 第0-0014号内訳表}

頁0-0022/0031

「規格1] t=30mm

「規格2〕密粒度アスコン「下水スラグ入再生材](13)

「摘要]

m2 当り

						補 正	
単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	構成比	備 考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
К3	排出ガス対策型含 ロードローラ 質量10~12 t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロート゛ローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入) T0P13			
Z2	軽油 パットロール給油			軽油			
Z							

基層(車道・路肩部)

積算単価算出表 _{施工 第0-0014号内訳表}

頁0-0023/0031

「規格1] t=30mm

「相格9〕 変粒度アスコン「下水スラグス 再生材] (13)

□規格1	t = 3	O mm		規格2」密粒度ア	スコンしトフ	バスフク 人再生を	打」(13)	└ 摘要 亅		<u> </u>	m2 当り
標準単価			代表機労材規格		構成比	基準単価		積算規格	単価	補 正 構成比	備考
 			1 43 21 38 23 74 37 2111		117/1/1/20	45++ 		計	1111	117/1/1/20	VIII
	1 本 位	F 177 /TT									
	預身	単価 =									
	A	平均幅員		=4		3.0m超					
	В	1層当り平	均仕上り厚	=30		1層当り3		厚 `入再生材](13)			
	C	材料		=14		密粒度アス	コン[下水スラク	`入再生材](13)			
	D	夜間割増の 瀝青材料和	り有無	=1		無し					
	Е	瀝青材料	重類	=5		無し					

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表 _{施工 第0-0015号内訳表}

頁0-0024/0031

「規格1] t=30mm

「規格2〕密粒度アスコン「下水スラグ入再生材](13)

「摘要]

m2 当り

							補 正	
準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	構成比	備考
	K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m			アスファルトフィニッシャ(排出がス対策型含)			
		[ホイール型]			ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
		排出ガス対策型含						
	K2	タイヤローラ 質量8~20t			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
		III . I			8∼20t			
		排出が双対策型含) > ~ /			
	K3	□-ドローラ 質量10~12 t			ロート、ローラ(排出がス対策型含)			
		「マカタ゛ム」			マカタ゛ム 10~12t			
		排出ガス対策型含						
	K							
	R1				 普通作業員			
	K1	肯迪作 莱 貝			音迪作来貝 			
	R2				運転手(特殊)			
	K2	连钩于(初外)			建松于(177个)			
	R3	特殊作業員			特殊作業員			
	Ro	NAME OF THE PERSON OF THE PERS						
	R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
		/ / /			_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	R							
	Z1	密粒度アスコン			再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入)			
		TOP20 t=50mm			TOP13			
	Z2	アスファルト乳剤			アスファルト乳剤			
		PK-4 タックコート用			PK-4(タックコート用)			
		les VI			les VI			
	Z3	軽油			軽油			
		パトロール給油						

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表 _{施工 第0-0015号内訳表}

t = 3	O mm	<u></u>	見格2]密粒度アン	スコン[下/	水スラグ入再生ホ	<u>†] (13)</u>	[摘要]		1	m2 当り
i		代表機労材規格	į	構成比	基準単価		積算規格	単価	補 正 構成比	備考
Z							2337.77516			,,,,
							計			
積算	単価 =									
	平均幅員		=4		3.0m超					
	1層当り平 ホオ*キシレ	均仕上り厚(mm)			1層当りる	平均仕上り カンバ 下 水 スラル	厚(mm) がみ 再生オオフ(13)			
D	夜間割増の	の有無	=1		無し		/			
Е	瀝青材料和	重類 	=1		タックコート F	K-4				
	看 A B C	Z 積算単価 = A 平均幅員 B 1層当り平 C 材料	(大表機労材規格 Z	代表機労材規格 Z	代表機労材規格 構成比	代表機労材規格	代表機労材規格 構成比 基準単価	(大表機労材規格 構成比 基準単価 積算規格	(代表機労材規格 構成比 基準単価 積算規格 単 価	(代表機労材規格 構成比 基準単価 積算規格 単 価 構成比

施工単価表 施工 第0-0016号内訳表

頁0-0026/0031

区画線設置 [溶融式]			<i>,,</i> <u> </u>	一川山 1 施工	. 第0-0016号内訳表	貝0-0026/0031
	見格 2]		[摘	要〕	1	m 当り
[規格1]実線 15cm t=1.5mm [共 名 称 ・ 規 格	数量	単位	単価	金額	備	
区画線設置 [溶融式] 機械・労務			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		施工	第0-0017号内訳表
		m				
区画線設置[溶融式] 材料					施工	第0-0018号内訳表
		m				
H H W M	,					
単位当り	1	m				
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業			
B 規格・仕様区分		=1	実線 15cm			
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし			
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装			
E 未供用区間の補正		=1	供用区間			
F 塗布厚		=1	t=1.5mm			
G 塗料区分		=1	白			
H プライマー規格		=1	アスファルト舗装用			
I 1日未満で完了する作業		=1	適用しない			

施工単価表 施工 第0-0017号内訳表 頁0-0027/0031 区画線設置 [溶融式] 機械・労務 当り 「規格1] [規格2] 額 名 称 ・ 規 格 数 量 単位 単 金 区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 実線15cm 豪雪無 制約無 m 供用区間 単 位 当 り 1 m A 夜間作業の有無 昼間作業 =1B 規格・仕様区分 実線 15cm =1 C 時間的制約の有無 時間的制約なし D 排水性舗装の補正 =1 一般舗装 E 未供用区間の補正 供用区間 =1

			施工具		第0-0018号内訳表		頁0-0028/	0031
区画線設置 [溶融式] 材料					2 3/10 0010/01/10/02			
[規格1] 名 称 ・ 規 格	規格2] 数 量	単位		要 <u>]</u> 金 額	備	1000		当り
	数 里	<u>早 世</u>	<u></u>	並 領	1/月		与	
カ゛ラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg						1
カ゛ラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg						1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg						1
軽油		L						1
諸雑費		%			#01			1
合 計		m						
単位当り	1	m						
A 規格・仕様区分 B 排水性舗装の補正 C 未供用区間の補正		=1 =1 =1	実線15cm 一般舗装 供用区間					
D 塗布厚 E 塗料区分 F プライマー規格		=1 =1 =1	t=1.5mm 白 アスファルト舗装用					

施工単価表 麻工 第0-0019号内訳表

百0-0029/0031

伸縮継手工			ルロート -	 	□ 第0-0019号内訳表	頁0-0029/0031
「規格 1]FCクラック抑制工法同等品以上	[規格 2]		「 接	万要]		7.2 m 当り
名称•規格	数量	単位	単価	金額	備	
ファルコンHR						
同等品以上	268	kg				
구내/요캠프다소산세						
下地処理用接着剤 FFCコート	1 4	т				
同等品以上	1.4	L				
高機能止水材						
メジェイドMA30	8	m				
同等品以上						
伸縮シート						
	7. 2	m				
	1	人				
						1
特殊作業員						
	3	人				
* \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						1
普通作業員	3	人				
	3					1
機械損料						1
	1	式				
						1
諸雑費	10	0/				
	10	%			#01	
					#01	
合 計	7. 2	m				
単位当り	1	m				
			1			

交通誘導警備員 B								
[規格1]	規格 2]		[摘	要]		1 人目 当り		
名 称 · 規 格	数量	単 位	単 価	金額	備	考		
交通誘導警備員B		人						
単位当り	1	人日						
A 交通誘導警備員区分 B 労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数					

No. lette latte who we			施工	単価表 施コ	二 第0-0021号内訳表		頁0-0031/	0031
鉄筋探査工			F 14		th D. Co	1		N/ 10
[規格1] 名 称 ・ 規 格	見格 2] 数 量	単位		新要]橋梁架設工事の積 金 額	算 P4-68 	1	式 考	当り
技師(A) 大学卒13年以上	0.5	人	72 11111	71Z HPR	νm			1
技師(B) 大学卒8年以上	1	人						1
技師 (C) 大学卒5年以上	1	人						1
諸雑費	5	%			#01			
単位当り	1	式						

		数	量	総	括	表					No. 1
工事名			E木谷橋補	· 	• • •	•		事業区分		喬梁維持管理事	業
			上小台備件	• • •				工事区分		喬梁保全工事_	
工種・種別・細別	名 称	規格		算		式		数量	単位	摘	要
橋面防水工											
	橋面防水工	塗膜系防水材					1. 0 =	1.0	式	数量集計表No,	1
	床版水抜きパイプ設置工	新設橋梁					1. 0 =	1. 0	箇所	数量集計表No,	1
舗装版打換工											
	舗装版切断	As舗装厚15cm以下					41. 6 =	41.0	m	数量集計表No,	1
	舗装版破砕	撤去厚15cm以下					103.8=	103. 0	m2	数量集計表No,	1
	殻運搬	As					6. 2 =	6.0	m3	数量集計表No,	1
	汚泥運搬	汚泥					1. 0 =	1.0	台	数量集計表No,	1
	処分費	As殼					1.0=	1.0	式	数量集計表No,	1
		汚泥					1.0=	1.0	式	数量集計表No,	1
	基層	平均W=3.0m以上 t = 30mm 平均W=3.0m以上					103.8=	103.0	m2	数量集計表No,	1
	表層	平均W=3.0m以上 t =30mm					103.8=	103.0	m2	数量集計表No,	1
区画線工											
	区画線設置 (溶融式)	実践15cm 白					28. 5 =	28. 0	m	数量集計表No,	1
橋梁付属物工											
	伸縮継手工						41. 7 =	41.0	m	数量集計表No,	1
仮設工											
	交通誘導警備員						14. 0 =	14. 0	人日	数量集計表No,	1
共通仮設費											
	鉄筋探査工	下向き					1. 0 =	1. 0	式	数量集計表No.	1

数 量 集 計 表

No	1

				I).	\\(\mu_1\)	11.11	No.
工種	名称	形状寸法	算	式	数量	単位	摘 要
南正木谷橋							
橋面防水工							
	橋面防水工	塗膜系防水材		=	1. 0	式	1舗装工
	床版水抜きパイプ設置工	新設橋梁		=	1. 0	箇所	1舗装工
舗装版打換工							
	舗装版切断	As舗装厚15cm以下		41.6=	41.6	m	1舗装工
	舗装版破砕	撤去厚15㎝以下		103.8=	103. 8	m2	1舗装工
	殼運搬	As		6. 2 =	6. 2	m3	1舗装工
	汚泥運搬	汚泥		=	1. 0	台	
	処分費	As殼		=	1. 0	式	V=6. 0m3
		汚泥		0. 023*0. 06*41. 6 =	1. 0	式	V=0.05m3
	基層	平均W=3.0m以上 t = 30mm		103. 8 =	103.8	m2	1舗装工
	表層	t = 30mm 平均W=3.0m以上 t = 30mm		103. 8 =	103.8	m2	1舗装工
区画線工							
	区画線設置 (溶融式)	実践15cm 白		28. 5 =	28. 5	m	1舗装工
橋梁付属物工							
	伸縮継手工			41.7=	41.7	m	2伸縮装置工
仮設工							
	交通誘導警備員			14. 0 =	14. 0	人日	交通誘導員算出根拠
共通仮設費				11.0			17.77
	鉄筋探査工	下向き		1. 0 =	1. 0	式	1舗装工

(1)舗装工

南正木谷橋	舗装工計算書		1橋当り
名 称	計 算 式	単位	数 量
舗装版切断工			
	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	m	41 6
	+ 1.211 + 1.240 + 6.800 = 41.561	m	41.6
As取りこわし			
(t=6cm:想定)	三角形の辺a 5.850 5.020 11.750 0.560 7.050 6.800 1.660 三角形の辺b 4.320 6.900 10.430 5.784 5.314 10.971 2.270		
	三角形の辺b 4.320 6.900 10.430 5.784 5.314 10.971 2.270 三角形の辺c 5.020 4.846 5.784 5.314 10.971 15.260 1.550		
	s=(a+b+c)/2 7.595 8.383 13.982 5.829 11.668 16.516 2.740		
	面積S(ヘロンの公式) 10.572 12.160 30.145 0.844 15.440 33.420 1.286		
	面積 10.57 12.16 30.15 0.84 15.44 33.42 1.29 A = 103.87	O	
	$h = 0.35 \times 0.30$ $= 0.11$	m2 m2	
	控除 = 1.50 × 0.14 = 0.21	m2	
	$\Sigma A = 103.87 + 0.11 - 0.21 = 103.77$	m2	103.8
	V = 103.8 × 0.06 (t=6cm: 想定) = 6.23	m3	6. 2
アスファルト	 舗装工		
	基層(密粒度(13), t=30mm)		
	A = 103.8 = 103.8	m2	103.8
	表層(密粒度(13), t=30mm)		
	A = 103.8 = 103.8	m2	103.8
橋面防水工	橋面防水工(塗膜系;アスファルト加熱型)		400.0
	アスファルト舗装面積 = 103.8	m2	103.8
	排水用導水管 (SUSスプリング管 φ 18)		
	橋軸方向		
	L = 4.041 + 11.190 + 4.439 + 4.320 + 6.817 = 30.81		
	+ 6.817 = 30.81 橋軸直角方向	m	
	L = 10.088 + 5.850 + 7.271		
	+ 0.550 + 0.140 + 6.800 = 30.70	m	
	$\Sigma L = 61.51$	m	61. 5
	橋面平面図 15369	·	
	1900 1900	187	v th
		(N)	、B 、パンド等で固定し河川へ排水
	0 0 0 0	•	
		3150	
/			
$\langle \langle \rangle$	7 (10)		
	1000 7000 1000 1000 1000 1000 1000 1000		
	日本会社(1705) 日本会社(イイア政策・ディアンド等で設定し基本		
	・		
	*í	1 1	

南正木谷村	舗装工計算書		17	喬当り
名 称	計 第 式	単位	数	量
	端部目地処理 (W=100mm) L = 2.270 + 2.227 + 4.320 + 0.300 + 0.300 + 0.550 + 6.817 + 0.140 = 16.92	m		16. 9
	成形目地材(ボンドテープ同等品以上 幅30mm 5mm厚) L = 16.92 = 16.92	m		16.9
	床版水抜きパイプ N = 1.00 = 1.00	N		1.0
	フレキシブルチューブ $L = 0.50$ = 0.50	m		0.5
	コンクリート削孔 ϕ 100×50mm N = 1.00 = 1.00 ϕ 50×260mm N = 1.00 = 1.00	孔 孔		1. 0 1. 0
	留め金具 N = 1.00 = 1.00	個		1.0
	鉄筋探査 (下向き) A = 0.50 × 0.50 = 0.25	m2		0.3
区画線工	車道外側線(溶融式・手動、実線、W=15cm、塗布厚1.5mm、白色) L = 15.90 + 1.60 + 11.00 = 28.50	m		28. 5
•	第五章 (4 19mm 494 1100 1100 1100 1100 1100 1100 1100		御水管 押みパンド等で回 0889	では、 できまれています。 できまれています。 できまれています。 できまれています。 できまれています。 できまれています。 できまれています。

(2)伸縮装置工

南正木谷橋						伸縮装置	計工.	計算	書]	橋当り
名 称					計		算			式					単位	数	量
伸縮装置工	L =	10. 43	+	11. 75	+	5. 85	+	6.	900	+	6.	. 800	=	41. 730	m		41.7
プライマー		0.30	+	0.06	×	2)	×	16. 2	280	×	0.5L/m2	=	3. 4	L		
	A2橋台 (0.30	+	0.06	×	2)	×	13. 7	700	×	0.5L/m2	=	2. 9	L		
	縦目地部 (0.30	+	0.06	×	2)	×	11. 7	750	×	0.5L/m2 Σ	=	2. 5 8. 8	L L		8.8
弾性合材	A1橋台 V = A2橋台	0.30	×	0.06	×	16. 280							=	0. 293	m3		
	V = 縦目地部	0.30	×	0.06	×	13. 70							=	0. 247	m3		
	V =	0.30	×	0.06	×	11. 75						$\sum V$	=	0. 212 0. 752	m3 m3		0.8
止水材	A1橋台 L = A2橋台	16. 280											=	16. 280	m		
	L = 縦目地部	13. 70											=	13. 700	m		
	L =	11. 75										ΣΙ		11. 750 41. 730	m m		41.7
				F	227 靖都日地 皮形日地 2500	橋面 	[平面]	1	導水管 /押えパンド等	で固定しほ	15280	11150					
		//			2500		g 		8 9 O			O O		0	•	導水管 押えパンド等で目	定し河川へ排水
	, it is		c				\	e e	(Market State)	_	_	f			3150	430	
	5200		3	4945 水管 (女18mm) 4439 (女18mm) 11190			(85 年 報 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 (8 m) 編輯	日地処理。 7050	5550 成影目地:	M6817		1			
60		5020	b			保販水抜きパイプ! (A2)	導水¶ 押え/ 設置	g マシド等で目	1定し排水	7030							
	(第(01bm) 现在日本版里。	0 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	選水管 押えバンド等	Fで開定し河川へ排水													

特 記 仕 様 書

この仕様書は、下記の工事の施工に適用する。

工 事 名 : 南正木谷橋補修工事

工事場所 : 相生市 矢野町榊 地内

総則

第 1 条 適用する図書

本工事の施工にあたっては、「設計図書」によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によらなければならない。

土木工事共通仕様書 〔令和6年4月一部改訂〕 (兵庫県県土整備部)

土木工事施工管理基準 〔令和5年10月一部改訂〕 (兵庫県県土整備部)

土木工事請負必携 〔令和6年4月一部改訂〕 (兵庫県県土整備部)

小型構造物標準図集 〔令和7年4月一部改訂〕 (兵庫県県土整備部)

第 2 条 契約工期

本工事は、諸手続き完了後に繰越予定であり竣工期限を「令和8年5月15日限り」に変更する予定である。

契約工期については、土・日曜日、祝日、年末年始休暇等を含んでいる。

第3条 特定建設作業の届出

騒音規制法、振動規制法及び環境の保全と創造に関する条例による特定建設作業を行うときは、特定建設作業実施届出書を提出し その写しを監督員に提出しなければならない。

第 4 条 コリンズ (CORINS) への登録

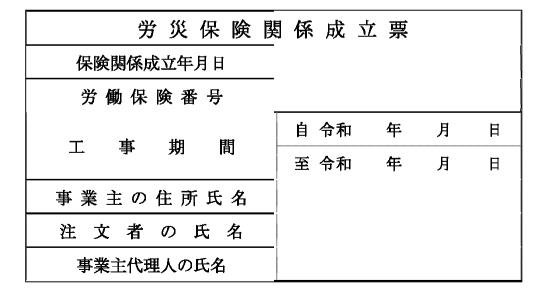
請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。 なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を 必要としない。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。 なお、変更時と工事完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

第 5 条 現場の管理

1 本工事の施工にあたっては、建設業法及び労働保険徴収法の規定により建設業の許可票及び労災保険関係成立票を現場内に掲示しなければならない。

		建	設	業	の	許	町	票			
	商号)	又は	名	称							
	代表	者の	氏:	名							
監理 主任	技術者	の氏名	Ż	専任 有 :							
	資格者			者 証番 号							
	一般建										
	許可を受	きけた	建設	業							
	許可	丁番	号	•							
	許可	年	月	B		令和]	年	月	月	



2 工事請負代金額が 2, 5 0 0 万円以上の工事について、請負者は現場代理人、監理技術者、主任技術者及び専門技術者並びに下 請負業者の主任技術者に、工事現場内において工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

<名札の例>



- 注) 1. 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。
 - 2. 社印は所属会社の社印とする。

第6条 施工体制台帳の作成

1 請負者は、公共工事入札契約適正化法に基づき、受注者が下請契約をおこなった場合、下請金額によらず施工体制台帳 及び施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともにその写しを監督員に提出するものとする。

このとき施工体制台帳は様式例-1及び様式例-2、施工体系図は様式例-3を参考として作成するものとする。

また、請負者は様式例-4を参考に工事担当技術者の施工体系図を作成して、監督員に提出するものとする。工事担当技術者の施工体系図には、元請負業者の監理技術者及び専門技術者並びに下請負業者の主任技術者の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名等を記載するものとする。

2 請負者は、建設業法施行規則第14条の2第2項に基づく添付書類を施行体制台帳とともに監督員に提出するものとする。

第7条 建設廃棄物の処理

- 1 本工事は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な処置を講ずることとする。
 - 1) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所	在	地
As殼	(株)DAIDO	たつの市龍野町	大道字安原	頁瀬363-1他18筆

上表については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

受注者は、兵庫県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

2 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に 記載し、監督員に報告するものとする。

なお、書面は再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用
- 3 工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

第8条 処分量の検収

1 特定建設資材等産業廃棄物の処理にあたっては、原則として再資源化施設に搬出するものとし、廃棄物の処理及び清掃に関する 法律の許可を持つ計量器を有する処理業者に委託し、兵庫県のマニフェストシステム実施要領に従って処理するものとする。

請負者は、処分が完了した後、処理業者が検収したマニフェスト票(D票及びE票)の写しを監督員に提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議し承諾をうけるものとする。

(原則として設計計上数量を限度とし、上記検収数量が設計数量に満たない場合は変更の対象とする。)

2 請負者は、産業廃棄物の処理にあたり、処理一覧表〔種類、日付、車両番号、処分量、処理施設)を作成 し、搬出、搬入、処理施設の処理状況を写真記録し監督員に報告するものとする。 ただし、処理状況写真については、報告が工事竣工後となってもやむを得ないものとする。

第 9 条 建設副産物対策

「兵庫県における建設リサイクル行動計画」(平成10年6月策定)の推進を図るため、「再生資源の利用促進に関する法律(リサイクル法)」(平成3年10月)に基づく「再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)」を作成し提出するものとする。

·工事着手時 : 再生資源利用〔促進〕計画書

·工事完成時 : 再生資源利用〔促進〕実施書

第 10 条 交通誘導員の配置

1 交通整理員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数 に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。なお、警備日報と集計表を監督員に 提出しなければならない。

配置場所	交通誘導員	編成	昼夜別	交替要員 の有無
相生市 矢野町榊 地内	2 名/日	交通誘導員B 14 人	昼	無

なお、交通誘導員A, Bの定義はつぎのとおり。

交通誘導員A: 警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の

検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る

1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B: 警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

2 交通誘導員の有資格

資格	資格要件
1・2級交通誘導警	公安委員会が学科及び実技試験を行って、交通誘導警備に関
備検定合格者	して専門的な知識及び技能を有すると認めた者。
交通誘導に関し専門	・警備業法における警備員指導教育責任者資格者証の交付を
的な知識及び技能を	受けている者。
有する警備員	・警備業法における指定講習を修了した者。
	・警備業法施行規則における基本教育及び業務別教育
	(警備業法第2条第1項第2号の警備業務) を既に受けて
	いる者で、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実
	務経験)が1年以上である者。

- 3 請負者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
- 4 請負者は、交通誘導員として交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料の何れかを監督員に提出するものとする。
 - ・警備員指導教育責任者資格者証(写し)
 - ・指定講習終了証明書(写し)
 - ・警備業法施行規則 第26条第2項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育(警備業法第2条第1項第2 号の警備業務)を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間 (実務経験)が1年以上であることを証明する書類。

第 11 条 関係機関との調整

請負者は、工事の施工に際して地元自治会ほか関係機関との調整を十分に図り工事施工計画等について、工事説明会の開催や 工事説明通知文書を配布するなど理解を求めること。

第 12 条 排出ガス対策型建設機械の使用

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設機械技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

上記のおいて、「これにより難い場合」とは、請負者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備考
・バックホウ	ディーゼルエンジン(エンジン出力
・トラクタショベル (車輪式)	7.5kw 以上、260kw以下)を搭載し
・ブルドーザ	た建設機械
• 発動発電機(可搬式、溶接兼用機含)	
• 空気圧縮機 (可搬式)	
・油圧ユニット	
(以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立	
したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの。	
: 油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭	
圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサ	
ーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転	
型オールケーシング掘削機)	
・ロードローラ	
・ホイールクレーン	

第 13 条 安全管理

1 安全・訓練等の実施

本工事施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により1月当たり半日以上の時間を割当て、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施すること。

- (1)安全活動の動画等視覚資料による安全教育
- (2)本工事内容等の周知徹底
- (3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- (4) 本工事における災害対策訓練
- (5) 本工事現場で予想される事故対策

- (6) その他、安全・訓練等として必要な事項
- 2 安全訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画書を作成し、監督員に提出すること。

3 安全訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況を工事報告(工事月報)に記載し報告すること。

第 14 条 不正軽油の使用の禁止

- 1 請負者は、工事の施工にあたり、使用する車輌及び建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第700条の22の2(製造等の承認を 受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
- 2 請負者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

第 15 条 事前調査測量

本工事施工にあたり、請負者は工事着工前に事前調査測量を実施し、その成果を速やかに監督員に提出しなければならない。

第 16 条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

1 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき下表の分類により、適正に処理すること

表 産業廃棄物の分類 工法 濁水が生じる工法(湿式) 濁水が生じない工法(空冷式等) 区分 排出形態 濁水※1 粉体 「がれき類」※2 「汚泥」、含まれる成分に (※2 政令市等「神戸・尼崎・西宮・明 産業廃棄物の よっては、「汚泥+廃アルカ 石・姫路]以外における取扱い。政 リ混合物」(※1 乾燥させた 令市等における分類は異なる場合 分類 場合も同様) があるため、別途当該市の環境部 局に確認のこと)

2 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法(湿式)を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥+廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。 収集・運搬・処理方法は下記①~③のとおりとする。

① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

<収集方法(例)>

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械(バキューム式)による収集
- ・工業用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集等
- ② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。 なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、 処理の際には十分注意すること。また、pH12.5 以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分 注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

3 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法(空冷式等)を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

4 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。①濁水量は実施数量(マニュフェストで確認)に応じて設計変更を行う。

①濁水量

 $0.05 \, \text{m}3$

相生市 矢野町榊 地内

②運搬費

普通トラック運搬

(2 t)

③処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬 距離	所在地	受入等諸条件	その他	施工箇所
「汚泥」	(㈱赤穂リサイクルセ ンター	23.1km	赤穂市加里屋1250-1	土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること	監 督 員 の 指示による	相生市 矢野町榊 地内

を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、 積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。 この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難い場合は、監督員と協議の上、 必要に応じて設計変更を行う。

第 17 条 熱中症対策

1 本工事施工に先立ち作成する施工計画書に、「**熱中症の早期発見のための体制整備」「熱中症の重篤化を防止するための処置」** の実施要領を作成し監督員に提出すること。また、関係作業者への周知を行うものとする。

第 18 条 その他

- 1 本工事施工にあたり、現場代理人は携帯電話等を常時携帯し、絶えず連絡が出来る体制をとるものとする。
- 2 請負者は、工事期間中において工事場所周辺道路等の維持管理を適切に行い付近住民等から苦情等がないよう最善の努力をするものとする。

- 3 工事着手前には必ず現地踏査・現地測量を行い、設計との照査を行い測量・施工計画書・材料確認の必要書類を監督員に提出し 了解を得なければならない。尚、着工前の設計照査・地元要望等により設計変更が生じる場合は必ず監督員と協議を行うこと。 この時、変更設計図面・数量表は請負者において作成するものとする。
- 4 請負者は、本工事に伴う提出書類を土木工事請負必携のほか、「土木工事提出書類一覧表」により該当する項目について整理を行い提出しなければならない。
- 5 請負者は、本工事の施工に際して、第三者災害に対する保険(土木工事保険等)に加入し、その写しを速やかに監督員に提出し なければならない。
- 6 請負者は、本工事の施工に際して、その工事に携わる下請の事業主と労働者の意識の向上を図るため、現場事務所や工事現場の 出入口など見易い場所に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示するものとする。
- 7 請負者は、本工事の施工に際して、労働基準法第104条の2(労働基準法施行規則第57条)労働基準法の適用事業となったとき (業種を問わず労働者を使用するに至ったとき)に、所轄労働基準監督署長に適用事業報告をしなければならない。
- 8 請負者は、本工事に関する支障物件(電柱や地下埋設物など)の移転の時期等を監督員と協議するとともに 関係機関と調整するものとする。
- 9 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならず、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示する ものとする。

第 19 条 疑 義

本件特記仕様書に疑義が生じた場合は、発注者、請負者で協議し解決するものとする。

項目	提出期限	提出日	備考
1 契約時			
①工事施工計画、下請負人通知書	契約後5日以		
(当初、変更)	内		
②現場代理人、主任技術者経歴書	同上		免許の名称、学歴又は専攻学科、実務経験、登録番号
③工程表(バーチャート)	同上		
④建設廃棄物処理計画書	契約時		
⑤リサイクル法第13条に基づく			
書面	同上		
6建設業退職金共済制度	同上		建設業退職金共済組合証紙購入確認書の写し
2 工事着手前			
ア 施工計画書(当初、変更)	工事着手前		監督員は施工の安全性や法令、規定を遵守し適切な施工が履行できる
	工事有于的		ものであるかを確認し、疑義がある場合にのみ指導・助言する。
①工事概要			工事名、路線及び河川名等、工事場所、工期、請負金額、工事内訳
			(主たる工種を記載し、契約設計図書の工事内訳書の記載は求めな
			い) ※図面等は不要
②計画工程表			工事費構成比、工程曲線
③現場組織表			
少児物相似 衣			現場代理人及び主任技術者等、各管理者(工程、出来形、品質、写 真)、各係(資材、労務、機械、事務)及び社内検査員
④指定機械			機械名、台数、製造社名、規格、環境対策等 施工時に使用した写真により確認を行い、施工計画書には記載事項の
			根拠(車検証、カタログ、写真等)の添付は不要
 ⑤主要船舶・機械			機械名、台数、規格、使用工種等
			指定機械に記載した機械も主要工種に使用するものは記載
(6)主要資材			JIS規格及びJIS工場の確認、品質・規格の確認
⑦施工方法			全体フローに示す工種は工事内訳書レベル2の範囲
			施工方法の記載は工事内訳書レベル2又はレベル3までの範囲
			任意仮設については詳細資料を添付。
8施工管理計画			工程管理、出来高管理、品質管理及び写真管理について、
			管理項目、管理時期、管理頻度、記録方法、配慮事項を記載
			段階確認、立会確認の必要な項目、実施予定を記載
○ □ 人英丽			コンクリート、アスファルトの運搬経路図(経路、時間を記載)
⑨安全管理			安全衛生管理の組織体制、安全衛生管理に対する実施計画 ※記録様式の添付は不要
⑩緊急時の体制及び対応			緊急時の連絡体制、災害時の体制
の表心的の体制がひとがい			※緊急資材の調達先や運搬経路は不要
(1)交通管理			運搬時間に制限がある資材 (Con、As) の運搬経路と時間
			連版时间に制限がある負利 (COII、AS) の連版経路と时间 一般車両、歩行者等に対する交通管理
			工事車両に対する安全管理や輸送計画
			過積載防止に向けた体制や確認方法等
			各種許可申請の有無と許可書の提出方法
			・道路使用許可書、特殊車両許可書の写し
			交通誘導員の配置図、保安施設の配置図及び主要資材の運搬経路位置
			X

項目	提出期限	提出日	備考
⑫環境対策			騒音、振動、濁水、土埃等の配慮事項。周辺住民に対する対応
③現場作業環境の整備			現場事務所、休憩所、作業現場及び現場周辺の美化
			土日休日作業に対する取組方針
④再生資源の利用の促進と建設副産			建設副産物収集運搬処理の委託及び最終処分における処分量
物の適正処理方法			の確認方法、再生資源の有効活用に向けた取り組み
			添付書類
			・再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書
			・産廃業者との契約書及び産廃業者の許可書の写し
⑤その他			
1. 特定建設作業の届出			受付印のある写し
2. 工事カルテ(当初)	契約10 日以內		
	に登録		
3. 土木工事保険等			第三者災害に対する保険
4. 労働基準法施行規則第57条			受付印のある写し
適用事業報告			工事毎で報告がない場合は会社としての適用事業報告とする
5. 労働安全衛生法第88条届出			受付印のある写し
 イ 使用材料確認願	工事着手まで		目次、インデックスを付ける。
<u></u> ②土木工事承諾願			当初設計に適合しないもの、承諾の必要な材料を使用する場合
①工事カルテ(変更、完成)	契約、完成		
	10 日以内		
②施工体制台帳及び施工体系図	下請け契約後		※R2.10.1以降契約分については「社会保険の加入に関する下請指導ガ
	速やかに		イドライン」による。 - エキリカ(キャントキャンキャン) のロリ
	- 本美ゴナマ		下請け契約書(注文書、請書)の写し
③交通誘導員の資格者書及び経歴書	工事着手まで		
④事前測量成果報告書	工事着手まで		
3 施工中に提出する書類			
アの段階確認書			自主検査の場合、検測状況写真添付
イ 立会願い			
ウ 休日作業届			
工 安全訓練等報告	毎月提出		活動内容の具体的議事録、写真添付
オ 工事履行報告書(工程管理報告書)	同上		計画工程と毎月の出来高数値により工程管理を行う、写真添付
カ 工事打合せ簿	打合せ後7日		
キ 施工承諾図	以内		
ク 変更施工計画書			変更施工計画書は追加式とし先の施工計画書は変更しない
			変更契約以降、工事費構成比、出来高比も変更となるため注意
ケ 変更計画工程表			タ丈大利以附、工尹貝開以几、田米向几も変更となるにの注息

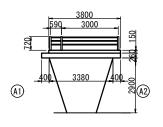
項目	提出期限	提出日	備考
4 工事検査時			
ア 社内検査報告書及び状況写真			
イ 工程管理			計画工程と毎月の出来高数値により工程管理を行う
①履行報告書			
②工程管理表			
③月間工程表			
④写真			
ウ 出来形管理			
①出来高数量報告書			契約数量に対する出来高数量の対比(同様の数値基準による)
②出来形管理表			略図、設計値、実測値、差及び規格値等
③出来形管理図(工程能力図)			上記管理表を図示したもの(側点数10点未満は不要)
④出来形図			設計値及び実測値(括弧書き又は赤書き)を記載
工 品質管理			実施した試験等の総括(一覧)表
①コンクリート品質管理表			打設日、打設量、空気量、スランプ、圧縮強度等
・コンクリート試験成績表			
・塩分測定結果表			
・テストハンマー試験成績表			
②アスファルト舗装品質管理表			厚さ、密度、As量等
・コア厚測定管理図表			
・アスファルト混合物温度管理表			
・抽出試験成績表			
③土工関係			試験表等
・土の締め固め試験成績表			
・現場密度試験成績表			
・CBR試験成績表			
④その他			鋼材ミルシート、注水試験等
オ 工事写真管理			
①着工前、完成後の対比写真			
②測点の記入			
③出来高寸法の記入、検尺の判読			
④不可視部分の確認			
⑤工事標示板、ヘルメット着用			
力 安全管理			
①安全協議会の開催			
②安全教育(月1回)の実施			活動内容の具体的議事録、写真添付
③新規入場者			新規入場者の安全教育実施資料の提出
④現場内安全パトロール等の実施			現場内点検、パトロール、KY活動
キ 施工管理			
①段階確認書			項目、写真、結果

項目	提出期限	提出日	備考
②立会報告書			内容、写真、結果
③工事打合せ簿、指示書			
ク その他			
①建設廃棄物の処理			提出書類
			・再生資源利用実施書
			・再生資源利用促進実施書
			・産業廃棄物管理表(マニフェストD票及びE票)
			・産業廃棄物処理一覧表(種類、日付、車両番号、処分量、
			運搬受託者名、処分受託者名)
			・産業廃棄物の処理状況の写真添付(搬出、搬入、処理施設)
			・建設発生土処理一覧表(種類、日付、車両番号、処分量、
			運搬受託者名、処分受託者名)
			・建設発生土の処理状況の写真添付(搬出、搬入、処理施設)
②交通誘導員			警備日報及び集計表
③排出ガス対策型建設機械			排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真添付
④特定自主検査記録表			
⑤重機点検表			
⑥建設業退職金共済制度の確認			共済証紙受払簿、退職金共済手帳、被保険者の就労状況報告書、 建退
			共辞退届
			建退共制度適用事業主工事現場標識の掲示状況写真
⑦建設業許可及び労災保険関係成立			現場内掲示写真の添付
票の現場内掲示			
⑧地元対応書類			
⑨納品伝票一覧			出来高で確認できない伝票の添付

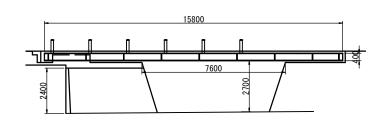
南正木谷橋 橋梁一般図 S=1:200

側面図

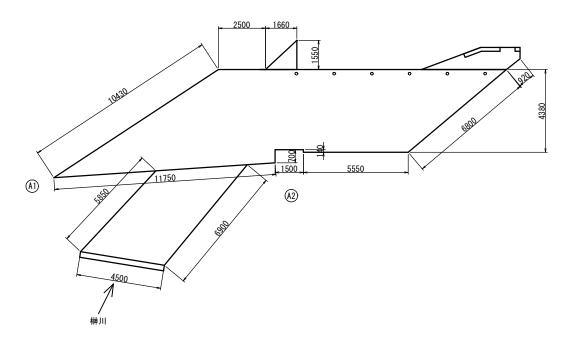
下流側



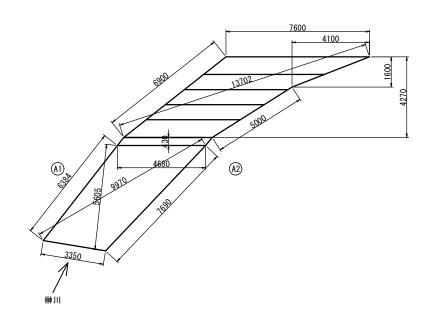
上流側



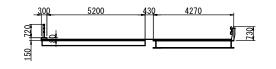
平面図(橋面)



平面図(桁下面)

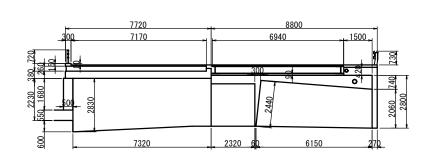


上部工断面図

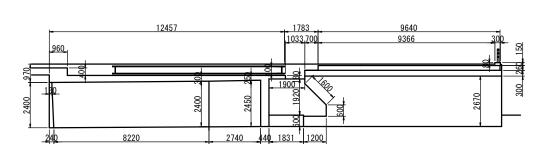


下部工正面図

A1橋台



A2橋台



令和7年度 道路橋梁維持管理事業 南正木谷橋補修工事 相生市 矢野町榊 地内 橋梁一般図 1 縮 尺 図 示 2 相生市 建設農林部 都市整備課

南正木谷橋 橋面補修図 S=1:80

